

【GIGA×指導の工夫・改善】 学習支援ソフトを活用した授業実践、協働的な学びの授業

＜考察＞

①学習支援ソフトを活用した授業実践

- ・中学2年生の社会科では、1時間毎の学習内容について学習支援ソフトを活用して生徒に提示している。
- ・スライド形式で大型モニターに提示することで、教師の説明時間が短縮され、生徒が探究的に学ぶ時間や協働的に学ぶ時間を確保している。
- ・発問内容や学習活動の説明なども大型モニターで提示し可視化することで、生徒の理解を促して、活動をスムーズに行うことができる。
- ・学習内容を振り返る際、学習支援ソフトを使うことで瞬時に生徒の学習の定着の様子を教員が把握しやすくなり、授業改善に生かすことができる。

②学習支援ソフトを利用した協働的な学びの授業

- ・学習支援ソフトの共有機能を活用して協働的な学びの活動を行っている。
- ・学習内容について個人のまとめや振り返りを行う前にグループで対話的・協働的に学習内容をまとめる活動を行ったことで、生徒同士の意見交換ができ、個人のまとめや振り返りの際に深く思考する生徒が多くなった。
- ・協働的に学び合う活動の時間に、手が止まっている生徒や悩んでいる生徒に対して、アドバイスをする生徒の姿が見られた。

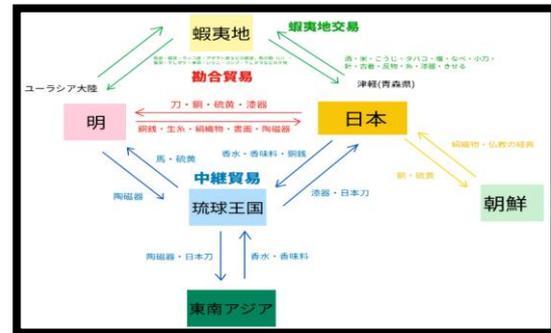
2年歴史 授業スライド
ヨーロッパ世界の拡大

②スペイン 1492年 (5コロンブス) が (6アメリカ大陸) に到達



コロンブスをはじめ、スペイン人が渡ったアメリカ大陸はどんなところだったのだろう？

2年歴史 室町時代の東アジアとの交流を図に表そう



2年歴史 鎌倉幕府の滅亡についてのグループワーク

【鎌倉幕府はなぜ滅びたのか説明しよう】

【外交】

モンゴル襲来で幕府が苦しめられた

マルコ・ポーロが書いた東洋見聞録で日本は黄金の国ジパングとして紹介された

日本と元で互いの憎悪が助燃した

日本と元で互いの憎悪が助燃した

徳政令を出したが一時的な効果しか得られなかった

徳政令によって御家人から土地を買った庶民や武士が不満を持った

悪党が登場

【政治】

幕府の政治に不満を持つ人が出てきた

【経済】

徳政令を出したが一時的な効果しか得られなかった

徳政令によって御家人から土地を買った庶民や武士が不満を持った

鎌倉幕府はなぜ滅びたのか？
【班としての考え】
今まで行っていた封建制度に限界がきて、その対策として新しい徳政令を作るが効果は一時的なものでそのことに対して不満を持った御家人達の幕府に対する反感が高まり、それに乗じて朝廷が政治の実権を取り戻そうと動いたから。

1年地理 アジア州の学習をまとめるグループワーク

地域	経済が成長した理由	経済成長による課題
アジア NIES	第二次世界大戦後、多くのアジアの国が独立。いち早く工業化に取り組み、電子部品や人工部品などの生産を増やし、他国に輸出して、急速に経済が発展していった。	経済が急速に発展したアジア NIESの都市では、狭い都市に人口が集中しすぎて、土地の値段が高くなってしまいました。
中国	中国の改革開放政策により、多くの企業が設立され、競争力が高まった。また、外国からの投資も増加した。	中国の改革開放政策により、多くの企業が設立され、競争力が高まった。また、外国からの投資も増加した。
東南アジア	東南アジアの国々は、資源の輸出や観光業の発展によって経済が成長した。	都市部と地方の間に経済格差が生じる
南アジア	英語や数学の教育水準の高さが国の援助を支えているから降水量の量によって栽培する作物を変えている。	人口が増え続けていることにより、食料やエネルギー資源の確保が難しくなることが予想されている。
西アジア・中央アジア	西アジアは石油の産出量が多く、各国の輸出額の大部分を石油が占めており、その資金で国政を行ったり、工業の発展につながったから。中央アジアは石油、天然ガス、シメタルなどの鉱産資源の輸出で発展している都市が多く見られる。	中央アジアでも西アジアでも限りある鉱産資源を輸出して発展しているが、再生可能エネルギーや人工知能などの最先端技術で、石油に依存しない都市づくりを模索している。また、戦争で人々が脅かされているので、平和な都市づくりも課題となっている。
<p>アジア州の各地域の共通点</p> <p>～アジア全体～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特徴に合った産業で経済成長を遂げている。 ・経済成長により各都市に様々な問題が発生しており、現在改善に向けて色々な取り組みを進めている。 		